

「第二期三重県ひきこもり支援推進計画」 概要①

ひきこもり支援に係る現状の課題

- ① ひきこもりについての理解促進
- ② 支援機関の周知
- ③ 支援や社会資源の充実
- ④ 広域連携的な視点と包括的な視点を持った支援の推進
- ⑤ 県の後方支援の充実

計画期間

令和7年度から令和11年度

第二期計画の支援対象者

- ◇ ひきこもり状態にある方
- ◇ 家族
- ◇ 支援者

何らかの生きづらさを抱え、
家族を含む他者との交流が
限定的または希薄な状態

ひきこもりを
定義しない

ひきこもりの
期間を問わない

三重県における「広義のひきこもり」推計値

こども・若者の意識と生活に関する調査(R4 内閣府)における出現率から推計

年齢層	県の人口	出現率	推計値
15歳以上39歳以下	399,517人	2.05%	8,190人
40歳以上64歳以下	570,432人	2.02%	11,523人

約2万人 合計 19,713人

将来のめざす 社会像

誰もが社会から孤立することなく、ありのままの自分が認められ、いつでも小休止でき、多様な生き方を選択し、希望を持って安心して暮らせる社会

5年後の目標(めざす姿)

ひきこもりは誰にでも起こりうるものであり、ひきこもり状態になったとしても、早期に支援につながるができるよう、安心して訪れることができる居場所等の社会資源を確保することにより、十分な支援体制が整備されています。

計画全体の目標

目標項目	現状値	目標値
ひきこもり当事者のための居場所数	45か所	60か所
「ひきこもり当事者やその家族に寄り添った支援体制の整備が進んでいる」と考える相談支援機関の割合	57.8%	80%

「第二期三重県ひきこもり支援推進計画」概要②

重視すべき視点	施策展開と取組方向
ひきこもりについての正しい理解	① 情報発信・普及啓発 ひきこもりについての正しい理解の促進 【新】支援機関の周知促進 等
課題解決型支援と伴走型支援	② 家族支援 家族に寄り添った相談支援 家族支援の充実 【新】家族交流会の拡充
アウトリーチ支援	③ 当事者支援 当事者に寄り添った相談支援 アウトリーチ支援の充実 【新】当事者交流会
DXの推進	④ 相談支援体制の充実 支援につながるための窓口の多様化 【新】ピアサポートセンター開設 包括的な支援体制の構築 等
専門的支援と後方支援	⑤ 社会参加・活躍支援 社会との接点を持つ機会の提供 【新】市町等と連携した居場所づくり 段階的・継続的に社会参加・活躍できる環境づくり
	⑥ 支援者支援 新 相談支援、連携体制の充実に向けた支援 専門性を生かした支援 【新】多職種連携チームの市町等支援 等
	⑦ 多様な担い手の育成・確保 ひきこもり支援に関わる方等への理解促進 【新】ピアサポーターの養成

